

---

# 全力疾走ゾンビ

うわの空

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

全力疾走ゾンビ

### 【Nコード】

N2163U

### 【作者名】

うわの空

### 【あらすじ】

私は走る。ゾンビも走る。

私は今、全速力で走っている。

そんな私の後ろを、ゾンビが全速力で走っている。

どうということなのか知らないけれど、通学途中、ゾンビにぱったりと出くわした。いや、ゾンビらしきものに出くわした。…本物のゾンビを見たことがないからゾンビかどうかは分からないけど、腐った皮膚とか、露出した内臓とか、そういうのを見たら『ゾンビだ』ってきつと誰でも思うよね？とにかく、私はゾンビだと思ったわけだよ。

で、武器も何も持っていない私は叫びながら走った。とりあえず交番に向かって走った。おまわりさんならどうにかしてくれるだろうと思ったからだ。

ところがこのゾンビ、私の後ろを全力疾走で追いかけてきやがった。

普通ゾンビと言えば、走らないよね？ていうか、走れないよね？歩くよね？いやむしろ、歩くよりも遅いスピードで移動するよね？私はそうだと思ってたわけだよ。

なのにこのゾンビったら、私の後ろを全速力で走ってきたのよ。ちなみに私の運動神経は、学年で真ん中くらい。要するに、普通ゾンビとの距離は離れないし、縮まらない。要するに私と同じスピードで、このゾンビは走っている。たまに、肉片を飛ばしながら、そして、

「うひょおおおおおおお！！！！」

こんな風に叫びながら。

普通ゾンビと言ったら、呻いてるよね？「ううう…」「とか」「ああ…」とか言ってるイメージだね？なのにこのゾンビは全速力で走りながら「うひょおおおおお！！！」と言っている。

ゾンビじゃないのかもしれない。もうそこら辺はどうでもいから、とりあえず私を追いかけるのはやめてほしい。

やっこの思いで、交番にたどりつく。

「おまわりさあああああん！！！」

私は全力で走りながら、大声で叫んだ。書類に何かを書きこんでいたおまわりさんはこちらを見て、それから青ざめた。そして、拳銃を取り出した。

早くあのゾンビを撃ってくれ。私の脚はもう限界だよ。

全速力で走ってくるゾンビ。おまわりさんは悲鳴を上げながら、拳銃の引き金を引いた。

その弾は、私の肩に、当たった。

「え？」

誤射だ、と思った矢先にもう一発撃たれた。さらにもう一発。私は自分の体を見降ろして、やっと理解した。

腐った皮膚。露出した筋肉。

自分も、ゾンビだった。

そっか。ゾンビって、走れるのか…。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2163u/>

---

全力疾走ゾンビ

2011年10月9日02時26分発行